



BS通信尾張東地区

スカウトかわらばん

発行:ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区委員長 横江昭憲

NO.15 2006.10.1

「より良いスカウティングをより多くの青少年に」

子供たちを取り巻く環境は大きく変化しています。ボーイスカウトは、家庭や学校ではなかなか学べないさまざまな活動を、自然の中で年齢の異なる仲間と行うことで、青少年の健全な心と体を育てます。・・・ここでしか学べないことがある。

現在の子供たちには、生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感動する心等「生きる力」をはぐくむ心の教育の必要性が指摘されています。特に青少年問題が社会の関心を集めている今日、「子供たちを如何によりよい方向に導いていくか」という点において、その教育は地域に目が向けられています。

ボーイスカウトのさまざまな活動を通して、地域社会での社会奉仕体験や自然体験などを経験させ、青少年の健全な心と体の育成に貢献できればと思っています。



ボーイスカウト活動を知っていますか。



ボーイスカウトってどんなことをやっているの？



野外での活動が中心です。ハイキングに出掛けたり、テントを張ってキャンプをしたりしています。自然の中で思い切り遊ぶっていうか、冒険するのがボーイスカウトのおもしろいところです。もちろん山登りなんか大好きです。ただ登るだけでなく、装備について学んだり、環境保護の活動にも取り組んだりします。

奉仕活動もぼくたちの活動の柱です。街をきれいにする運動などを行っています。9月のスカウトの日には「カントリー大作戦」といって、日本中のスカウトが空き缶拾いをしています。



なるほど、社会に役立つことをしているわけね。

【ボーイスカウト運動の教育】



健全な心と身体を培うために次のような特徴が挙げられます。

1. 青少年の自発活動であること。
2. 青少年が、「誠実、勇気、自信および国際愛と人道主義を把握すること」「健康を築くこと」「人生に役立つ技能を体得すること」「社会に奉仕できること」の「人格」「健康」「技能」「奉仕」を4本柱としていること。
3. 幼児期から青年期にわたる各年齢層に適應するように、年齢に応じた部門があり、それぞれのプログラムが一貫していること。

しかし、ボーイスカウト教育が他の青少年団体と異なるところは、そのプログラムにあります。それは『ちかい、おきて』の実践、班制度、進歩制度、野外活動を取り入れていることです。

ちかい

私は名誉にかけて次の3条の実行をちかいます。

1. 神（仏）と国とに誠を尽くしおきてを守ります。
1. いつも、他の人々をたすけます。
1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

「ちかい」は自分自身に対して誓うものであり、「おきて」は毎日の生活の物差しとして自分自身の行動を律するものです。

おきて

1. スカウトは誠実である。
2. スカウトは友情にあつい。
3. スカウトは礼儀正しい。
4. スカウトは親切である。
5. スカウトは快活である。
6. スカウトは質素である。
7. スカウトは勇敢である。
8. スカウトは感謝の心をもつ。



スカウト通信



早朝清掃

瀬戸第5団 副団委員長 加藤隆雄

当団は昭和47年の発団時より「せともの祭り」2日目早朝清掃を恒例行事として実施しています。本年の第75回せともの祭においても、9月10日（日）午前6時に宮前広場に集合し、ビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバー隊と保護者が参加し、それぞれに分かれて空き缶やゴミ拾いを行いました。

地域の人々のマナーの向上か、回を重ねるごとにゴミが少なくなっているのに気づきました。しかし、販売会場を歩いていると、たばこの吸殻はたくさん落ちていました。

「大人が吸殻を片づけずに道に捨てているんだな」と思いました。

大人のマナーの悪さである。

スカウトたちは自分達の街をきれいにしようという気持ちから目についたものは全部拾い集めて来てくれました。指導者がそれらを、燃えるゴミ、資源リサイクルビン、缶、ペットボトルに分別しました。

捨て方が決まっているゴミはルールを守って捨てて、もっときれいな街に行きたいと思います。



発団20周年記念登山を終えて

日進第2団 カブ隊 佐藤桃子

8月14日私は飛騨頂上を目指して登山をしました。御嶽少年自然の家から見た御嶽山はとっても大きく見えて、こんな大きな山に登るのかあとと思いました。地面が湿っていて、歩くのが大変でした。でも皆だんだんと慣れていったので、もうちょっと早いペースで歩くことができました。しばらく歩いていると木が低くなってきて、私より背が低くなって最後には木が無くなってしまいました。小さい花がいっぱい咲いていて、とっても感動しました。頂上には万年雪があって寒かったです。そのすぐ隣にはすごくきれいな池がありました。頂上で食べた弁当はおいしかったです。

その後、私は継子岳に行きました。私以外の女の子はリタイアしてしまい継子岳には行くことができなかったのが残念でした。飛騨頂上へ戻るときコマクサがきれいでした。下山のとき足が痛くて苦労したけど、無事に帰れてよかったです。



せともの祭パレード

瀬戸第5団 カブ隊副長 鈴木章

9月9日(土)真夏のような蒸し暑さの中、第75回せともの祭イベント・ミスせとものパレードが行われました。人力車2台にミスせとものと準ミスが乗り、ボーイスカウト瀬戸第1, 5, 6, 8団にガールスカウト愛知第66団で構成された、ビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャー隊総勢240名の鼓笛隊が演奏随行し、瀬戸川左岸「瀬戸蔵」から販売会場を通り「パルティせと」間の往復パレードに奉仕をしました。





お知らせコーナー



ドングリ交流会

野営行事委員会

日時 11月12日(日)
 場所 新城市吉川深沢37-6 ボーイスカウト愛知県連盟新城吉川野営場
 内容 緑の少年団との交流会
 「どんぐり山」造成のための共同植樹
 参加者 緑の少年団、ガールスカウト、ボーイスカウトカブ隊

緑の少年団は、次代を担う子供たちが、森林での学習活動、地域の社会奉仕活動、キャンプなどのレクリエーション活動を通じて、自然を愛し、人を愛し、自ら社会を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした、子供たちの自主的な団体です。
 (<http://www.green.or.jp/>)



カブ隊指導者研究会

指導者養成委員会

日時 11月26日(日)
 場所 瀬戸市川端町1-31 やすらぎ会館
 目的 カブ隊の円滑な隊運営に必要な知識と隊活動を更に活性化するための指導者技術を習得し、カブスカウトによりよいプログラムを提供することができる隊指導者になることを目的とする。
 参加者 隊長、副長、副長補、デンリーダー及びカブ隊にかかわる全ての成人指導者

ピーパーラリー

野営行事委員会

日時 12月10日(日)
 場所 日進市、長久手町で選定中
 決定しだいお知らせします。
 内容 プログラムは当日のお楽しみ
 盛りだくさん用意しています。
 大勢の参加をお待ちしています。



・・・編集後記・・・

紙面掲載用の原稿、写真、地域の行事原稿、ご意見等を地区広報委員までどしどしお寄せください。
 本紙に使用したイラストは、「岡崎第5団あんめの素材部屋」を利用させていただきました。

【広報委員会】

谷口錠利(尾張旭第1団) 伊藤靖史(瀬戸第1団) 加藤智浩(瀬戸第5団) 西村俊夫(瀬戸第6団)
 加藤健(瀬戸第8団) 石川博幸(日進第1団) 矢崎勉(日進第2団) 星川由美(長久手第1団)
 山田高司(地区副コミッショナー)

【編集事務局】 ☎489-0888 瀬戸市原山台3-13 尾張東地区広報委員長 渡邊正行

編集担当 瀬戸第1団 伊藤靖史

発行部数 1,200部